

浜松市立 舞阪第一保育園 園長 藤野 和美

今回、西部地区「ぶらんこ」で訪問取材をさせて頂いた保育園は、浜松市の西区にあります。開園は昭和三十八年と歴史があり、当初は舞阪町立第一保育園として開園し、浜松市との合併により、現在の浜松市立舞阪第一保育園となりました。近くには、弁天島温泉があり、夏は海水浴、冬は元旦の初日の出の撮影、また、年中釣り人でにぎわいを見せ浜松市の西の玄関口となっている場所です。保育園は定員数八十名で現時点で六十二名が通っているそうです。



まず、周辺環境については住宅地に囲まれ弁天島駅が近いのですが、とても静かで落ち着いた印象で自然環境としては浜名湖がとも身近に

感じられる印象がありました。園長先生にお話しを伺うと、お散歩の時には、「ウォット」と言う浜名湖体験学習施設が近くにあるの



で、そこで海の生き物や浜名湖にいる魚をみたり、まっほっくり拾いをしたりと様々な体験が出来るそうです。

また、防災対策については海辺ならではの津波に対する対応としてライフジャケット装着訓練や地域と連携して裏手にあるビルの屋



上に避難する訓練を行うなど、特に力をいれていると感じられました。そして、地域交流の一環として毎月お茶会を開催をしたり、老人会や施設との交流も行っており、発表会の

時などにも招いているそうです。

また、保育としては異年齢児によるふれあいを積極的にやっているとの事でした。現在少人数で保育を行っているため、子ども一人一人としっかりと向き合える事ができ、地域からも温かく見守られ、連携や交流がしっかりと行えているとの力強いお言葉を頂きました。

今回は、年末のお忙しい中、快く取材をさせて頂き下さった園長先生をはじめ職員の皆様には心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。